

## 令和5年度通常総会・講演会が開催されました

5月13日（土）に岐阜県図書館多目的ホールで本年度の通常総会・講演会が開催されました。

総会は、市町村職員18名を含めて110名の会員の参加のもとに開催されました。高木敏彦会長の挨拶に続いて、功労者表彰が行われ長年県古文書読解講習会の講師を務められた正眼短期大学教授鈴木重喜氏が表彰されました（同じく長年講習会講師を務められた田中豊氏、長年協会役員を務められた伊藤壽氏も表彰予定でしたが、当日は他の行事のため欠席でした）。続いて、来賓の岐阜県総務部法務・情報公開課長松田直樹様から祝辞をいただきました。また、市町村会員代表の森和之瑞穂市長様・岐阜県議会議員伊藤秀光様からの祝電が披露されました。

議事に移り、前年度の事業報告と会計・決算報告・監査報告が承認され、本年度の事業計画・予算案及び会則改定案が提案通り承認されました。

総会後の講演会は、岐阜県歴史資料館と共催で実施され、NHK大河ドラマ『どうする家康』の時代考証を担当されている歴史学者の平山優先生に「家康と信長」というお話をさせていただきました。講演会には一般県民をはじめ愛知・静岡・石川・神奈川・京都・大阪など全国からも申し込みがあり、計230名の参加がありました。以下は、総会・講演会様子です。

司会進行を務める坂口浩之理事



挨拶を行う高木敏彦会長



功労者表彰を受ける鈴木重喜氏



来賓紹介松田課長と浅野浩司館長様



県総務部法務・情報公開課長松田直樹様のご挨拶



講演をする平山優先生



講演会の様子

